



ごんぎ講座

30
VOL.

72月保存版

電気の安全な使い方 ②

操作が簡単だからと、取扱説明書を見ずに電気製品を使っているいませんか？自己流ではなく正しく使って、事故に巻き込まれないようにしましょう。



ほあんくん

取扱説明書を見えていますか？

警告のマークが表示されています。ご使用前に安全上の注意を読みましょう。

 注意マーク	気をつけてほしい！	 <表示例>	発火注意  使い方を誤ると、発火の原因になります。	感電注意  分解したり水をかけたりすると、感電の原因になります。
 禁止マーク	してはいけない！	 <表示例>	火気禁止  火気を近づけてはいけません。製品が発火する原因になります。	分解禁止  製品を分解してはいけません。感電やケガの原因になります。
 強制マーク	必ず守ってほしい！	 <表示例>	プラグを抜け  電源プラグをコンセントから抜いてください。	アース接続  安全アース端子付きの製品は、アース線を必ず接続してください。



安全な製品を使いましょう

電気製品を選ぶとき、気をつけなければならないのが製品の安全性です。国が定めた基準に適合した製品に表示される「PSEマーク」が表示された製品を選び、使いましょう。




特定電気用品 116品目
(電気便座、鑑賞魚用ヒーター、電気マッサージ器など)



特定電気用品以外の電気製品 341品目
(電気カーペット、電子レンジ、電気歯ブラシなど)



- 当協会や類似した会社名を名乗り、電話勧誘・訪問を行った末、点検料を請求するなど、悪質な事案が発生しています。不審な訪問販売やセールス電話には十分にご注意ください。
- 九州電気保安協会は  のマークの職員証を付けた作業服を着用しています。

電気に関するご相談は、最寄りの事業所またはホームページでお受けしています。

<https://www.kyushu-qdh.jp>

九州電気保安協会

検索



一般財団法人九州電気保安協会

いろんな“危険”が潜んでいます！気をつけて使いましょう

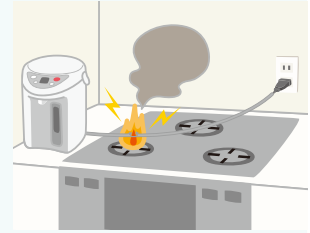
水・湿気

電気製品は水がかかったり、湿気が多い場所に置くと、故障や感電の原因に。屋外灯なども破損して雨水が入らないように気をつけましょう。



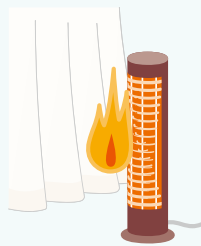
熱・火

普通のコードは熱をうけたり、火にさらされると、ビニールの絶縁被覆が傷んでショートや過熱を起こします。



燃えやすいものと接触

電気ストーブの上に燃えやすいものが落ちたり、カーテンや布団などが触れると、焦げたり火災の恐れがあり、大変危険です。



吹出口を塞ぐ

ドライヤーやファンヒーターなどの吸込口や吹出口を塞ぐと内部のヒーターが急激に過熱し、火災の原因になります。



作動したまま放置

ドライヤーの温風吹出口の温度は140℃にまで達する場合があります、スイッチを入れたまま畳などに放置すると火災の原因になります。



電気毛布などの折りグセ

電気毛布やホットカーペットの内部のヒーター線に重なりや折りグセがあると断線し、火災や感電を引き起こす恐れがあります。



異常発見のポイント



見て

- プラグが傷んでいる
- 器具やコードから煙や火花が出る



聞いて

- 運転中に異音がする
- いつもより大きな(小さな)音がする



触れて

- コンセントやプラグが熱い



嗅いで

- ビニールやゴム、油の焦げるような臭いがする



みまもちゃん